
Force edge ~ vivid stars ~

紅翠蒼華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Force edge \ vivid stars \

【コード】

N0532BA

【作者名】

紅翠蒼華

【あらすじ】

私が全ての世界を守る者？

あなたは、この刃を誰の為に、何の為に使いますか……………？

香月 舞を主人公とする物語はまた別次元へと移る！

近未来的超能力バトルの行方を、今あなたに！

〜とあるオリキャラの設定編〜（前書き）

さて、今回は設定だけ…

くとあるオリキャラの設定編

キャラ紹介をさせていただきます。

・香月 舞^{（こうつき まい）}… 4月4日生まれ、牡羊座のA型。東条学園A.L科中^{（オールマイティ）}等部2年A組所属。オールマイティJr.のNo.12で、時々依頼をこなす。次期生徒会長。ローゼンメイデン第1ドール『水銀燈』とマスター。時空管理局員やらザフト軍人やら、特務エスパーとして忙しい日々を送っている。

魔導師ランク…SSS

使用術式…ミッドチルダ式

魔力光の色…青が少し濃い青緑

スキル…グラビティ？ゼロ（重力を自在に操る。但しAMFなどでは無効化される。）
妖精使役（沢山の妖精を呼び出せる）

変換資質…氷結変換『絶対零度』（この変換資質が珍しい為に魔導師ランクが高い。）

使用デバイス…ミッシング？ブレイズ（「Missing Blade」^{（ミッシングブレード）}。別名「墮天使の鎌」。スタンバイフォームはクリスタルの付いたネックレス型、デバイスフォームは鎌。）
インテリジェントデバイス。

その他の能力…ESP全能力（超度^{（レベル）}測定不可能。合成能力もある。恐らく超度7。）、神業^{（マエストロ）}級の職人

使用魔法…妖精召喚（要詠唱。呼び出す妖精によって異なる。）、ブレイズシューター（高速の射撃魔法）、グラビティバインド（対象者の動きを重力を操作して止める。）、デイベインバスター（なのはのを見て覚えた）、ミッシング？グラビティ（重力が増して立つことすら不可能になる）、グラビティ？ゼロ（ミッシング？グラビティとは対の魔法。無重力状態になる。）、グラビティブラスト

（スターライトブレイカー同様、集束砲。撃ち込んで暫くした後の周辺の地形は原型を留めない程。彼女の最強魔法。）

・結城 玖憐……舞の妹的存在。6月27日生まれ、蟹座のO型。舞とは幼なじみの同級生。普段から舞について回る程の少女。舞と同じくオールマイティーJr.のNo.14。因みに軍人でもエスパードでもない。管理局囑託魔導師。

魔導師ランク…AAA+

使用術式…ミッドチルダ式

魔力光の色…赤みがかったオレンジ

使用デバイス…フレミング？スフィア（炎をかたどったチャームの付いたブレスレット型。装着型。）

変換資質…炎熱変換

使用魔法…フレイムジェム（周辺に鬼火のような炎に包まれた球体を出す。）、以下はシグナムと同様（省いてすみません）。

……以上の二人が主人公です。

まだまだ他にも出て来ますが、設定が曖昧な為に載せない事にしました。

舞という名前は……私が好きなだけです。後は大体適当に、といいますか。

さて、どんな内容にしようかな？

くとあるオリキャラの設定編（後書き）

まだまだオリジナルキャラは居ます。

今のところはこの二人をメインに書いて行きます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0532ba/>

Force edge ~ vivid stars ~

2012年1月1日01時46分発行